

平成 29 年度会津若松市要介護認定調査員現任研修会 アンケート結果

●アンケート回収率・・・約70%

参加者数	回答数
57人	40件

●アンケート結果

1. 問題を解く

ア とても良かった	イ 良かった	ウ ふつう	エ いまいち
22人	17人	1人	0人

2. グループでの答え合わせ

ア とても良かった	イ 良かった	ウ ふつう	エ いまいち
13人	11人	11人	3人

3. 解答&解説

ア とても良かった	イ 良かった	ウ ふつう	エ いまいち
23人	14人	2人	0人

1. 問題を解く

ア とても良かった	イ 良かった	ウ ふつう	エ いまいち
22人	17人	1人	0人

ア とても良かった

- ・振返りができた。
- ・eラーニングと同じ問題パターンで間違い多かったです。
- ・解きながら学習できた。
- ・間違いやすい項目、自分のくせがととてもわかりやすく評価することができた。テキストを見ながらでも間違いがあり、今後気を付けて実践していきたい。
- ・テキストを確認しながら行った為、再確認をすることができた。
- ・問題として見ることでよく考えることができた。
- ・間違いやすい所が問題となっており再度勉強できました。
- ・日頃、自分が行っている調査判断の確認ができた。
- ・自分で問題を解いて、基本に戻り、考えることができた。
- ・あらためて問題を解くことで理解できていない事が確認できた。
- ・常にテキストを見ながらチェックを行っている為、不確かな事が多く再確認できた。
- ・最近時間を作り自宅でeラーニングの問題に取り組んでみた。真剣に取り組むことで理解が深まった。
- ・改めて再確認できた。間違って解釈している項目、勘違いしていた項目があり、正しい理解ができた。
- ・勉強不足な点もわかった。
- ・普段、選択をしている通りに行い、結果いつも間違える所がやはり弱かった。再確認できた。
- ・間違って理解している部分の確認が出来、良かった。
- ・eラーニングを仕事に行う余裕がなく、数回しか解いた事がなかった。しっかりとこれまでの調査を振り返る事ができる、よい機会となった。
- ・日頃の確認ができる機会ができたので良かったと思います。
- ・○・×の選択で、自分の能力がわかり、日頃の業務の間違いがわかった。
- ・自分が理解できていなかった点について把握出来て良かった。

イ 良かった

- ・できないところが再確認出来ました。
- ・同じ問題があったので、全く違う質問だとより多く解ければと良かったと思う。
- ・今更ながら、理解していない事が多かった。でもそれがわかったので良かった。
- ・問題を目にする機会もないので、そのような機会を頂き自分の能力気づき不足を知ることができました。
- ・間違いやすいポイントの確認ができ良かった。再度テキストで確認したい。
- ・自分の苦手なところがよくわかりました。
- ・改めて判断基準を学べたと思います。
- ・時間をかけて勉強することができた。
- ・問題量、時間も適切で良かった。普段迷う部分の問題が多く、勉強になった。
- ・問題を解くことで調査の時と同じように考え調べることができた。調査の時に迷ってしまう項目が分かりやすくなっていた。
- ・理解できていないところが多数ありとても勉強になった。
- ・注意しなければいけないところが問題になっており振り返りすることができた。
- ・自分の判断の間違っていることを知ることができた。

ウ ふつう

- ・空き時間がちょこちょこあり、集中力が続きにくかった。同じ問題をくり返すことで覚えられた。

2. グループでの答え合わせ

ア とても良かった	イ 良かった	ウ ふつう	エ いまいち
13人	11人	11人	3人

ア とても良かった

- ・色々な視点を学べた。
- ・他の方と話合えて、同じ悩みを持っていることが分かった。
- ・迷ったことに対してアドバイスをもらうことができた、又、同じ様なところで考えたりするというのも心強かった。
- ・いろいろ意見交換でき、共有したり、新たな情報がもらえたりした。
- ・他の他人の話も参考になった。
- ・同じレベルで質問、不明な点を聴くことができた。
- ・間違いや要点などを確認できた。
- ・審査会に参加されたことがある方に、流れや質問方法を聞くことができた。
- ・色々な意見が聞けた。今後の調査時に生かせるお話も聞けて良かった。
- ・あいまいな事がグループと話すことでわかった。話やすかった。

イ 良かった

- ・色々な話が聞けて良かった
- ・間違え所がグループ内で同じ人が多く、傾向や考え方が共有できたところがあった。自分だけ間違えたところは、どのように考えればいいのかグループの方からも指導を頂けた。
- ・いろいろな考え方で調査に関わっていることを知り勉強になった。
- ・他の方の考え方も聞けたので良かった。
- ・調査のどのような場面で迷ってしまうなどの体験なども聞くことができた。
- ・再度話す事で理解が深まった。

ウ ふつう

- ・もう少しいろいろな意見が出れば良かった。普段の苦労点など。
- ・グループで話し合うことは少なかった。解説で十分。
- ・グループ内で特に確認をすることはなかった。
- ・なかなか発言し話し合いにならなかった。
- ・解説があるので答え合わせにならなかった。
- ・解説があるので答え合わせにならなかった。
- ・グループワークの必要性はあまりなかった様に感じます。
- ・自分の間違いを理解することが精いっぱい、話し合いができなかった。

エ いまいち

- ・それぞれが消極的であった。
- ・特にグループで話し合うことはありませんでした。
- ・余りグループで検討するような内容ではなかったように思います。

3. 解答&解説

ア とても良かった	イ 良かった	ウ ふつう	エ いまいち
23人	14人	2人	0人

ア とても良かった

- ・単に答えや解説を読み合わせるだけでなく、自分の言葉で実例を入れて言ってもらえて分かりやすかった。
- ・考え方がわかりやすく、今後の調査に迷うことが少なくなると思う。
- ・詳しい説明があり、よく理解できた。解説集は今後の資料に役立ちそうである。
- ・不潔行為の特記の記入の仕方。介助が不適切の場合の現状と適切な介助の判断根拠の記載の仕方がよくわかりました。
- ・間違いやすいところの解説があり、とてもわかりやすかった。
- ・間違えた部分を改めて確認する事ができた。
- ・普段確認が出来ない事が確認できた。
- ・詳しく説明してもらい、わかりやすかったです。
- ・分かりやすく良かったです。
- ・木下さんが詳しく解説してくれてわかりやすかった。
- ・分かりやすく記載してあった為、グループで話し合うことはありませんでした。
- ・解説集もあり分かりやすかった。
- ・普段の調査であいまいに覚えていた部分も理解できた。
- ・わかりやすい解説でよく理解できた。
- ・分かりやすかった。
- ・あらためて自分の弱い項目を詳しく説明頂いたので今後の参考にしたい。
- ・考え方や根拠がわかり、良かった。
- ・分かりやすかった。解説集もわかりやすく理解が深まった。

イ 良かった

- ・丁寧な説明でわかりやすかった。
- ・簡単にポイントを説明—わかりやすかった。うっかりミスや気づかなかったところなどわかりよかった。
- ・メモしている際に聞き逃してしまった部分があった。
- ・具体的に解説を聞くことでわかりやすかった。
- ・わかりやすかった。
- ・自分の思い込みに気づくことができました。
- ・調査で迷う時の参考にしたい。

ウ ふつう

- ・何年やっても知らない事が沢山出てきて発見があった。

●その他自由記載

研修会の感想等

- ・ 今回の研修会は大変役に立ちました。
- ・ 問題形式で集中した勉強会になった。基本に立ち返ることができた。
- ・ いつもお世話になります。何件やっても奥が深いと思っています。木下さんから連絡が来ない様にしっかり特記書いていきたいと思えます。
- ・ 原点に戻りよかったです。ありがとうございました。
- ・ 何回調査しても違ってしまうこともあり、迷惑かけていて申し訳ありません。正確に特記事項に記入できるように努力していきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひします。
- ・ 全てテキストに記載されている内容ばかりなのに、間違う事が多かったです。テキストをきちんと読んで、調査をまとめたいと思えます。これからもよろしくお願ひします。
- ・ 楽しい研修会でした。日頃、今回の研修で再確認できた事参考にしていきたいと思えます。
- ・ いつものような役割（司会、記録、発表）がなかったのでリラックスして問題も解けたし、全て集中できた。
- ・ いつも修正や確認の連絡ありがとうございました。勉強していきますのでよろしくお願ひします。
- ・ すごく勉強になるので、研修会増やして欲しい。
- ・ いつも、金曜日の研修だった為、業務上都合がつかず、なかなか研修に参加できていなかったが、今回は木曜日で参加できて良かったです。
- ・ 木下さんの説明はてきぱきと重点だけを言ってくれわかりやすい。

認定調査に関する意見等

- ・ 調査については個人差があり、担当するご利用者様からも「あまりよく聞いてもらえなかった」との意見が聞かれることがたまにあります。日頃の状況やご家族の意、訴えを聞けるよう丁寧に調査していきたいと思えます。
- ・ 他の事業所さんでは、件数も多い中調査も行っていると聞き、尊敬します。
- ・ 判断基準をもう少し理解し正確な調査を行ってきたい。

特記事項の記載の仕方などの疑問点等

- ・ 認知症状が強い方の場合、なかなか調査をまとめるのが難しい事が多いので、その辺も具体的にやってほしいです。（もう少し具体的な内容だと助かります）
- ・ いつもじっくりこないことが 1～2 つはあります。4 群は基本「介護の手間が発生しているか否か」で判断していましたが、「ある・なし」でと今日は指導されました。4 群の中でも判断基準が異なるのでしょうか。また、独居で言動が確認できない場合はどうすれば良いのでしょうか。

●全体を通して・・・

今回の研修会は、原点にもどり、認定調査の判断基準や定義、注意点など確認し、認定調査の際に同じ基準で判断できるようになることを目的として開催した。e-ラーニングシステムの受講を勧めていたが、受講率が上がらなかった為、その問題を利用して研修会を開催したが、アンケートの感想をみると当初の目的通りの研修会になったと感じている。

グループワークについては、各グループ毎の盛り上がり方によって反応が賛否両論ではあったが、グループ編成について検討を加えるなどし、今後も情報交換の場となるようにグループワークを導入したいと考えている。

今後も、会津若松市の認定調査の現状に則した研修会が開催できるよう、アンケートの意見等を参考に研修会を実施していきたい。

また、今回のアンケートであがっていた質問や疑問点については、あかべえ通信を通じて解答及び解説をしていきたいと考えている。